

郷

尾山町
石山町

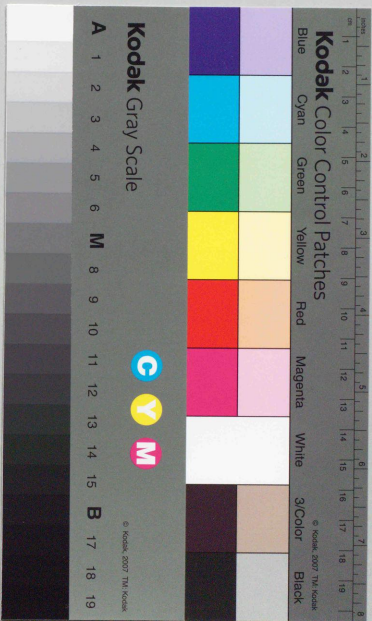
湯浅四郎氏寄贈

298

湯浅寺秋葉火防縁記

185

H



費田補陀山園通寺の嘉吉
年中小遠別溪松普濟寺
善哉禪師乃弟子誓海和尚
來際まゝして田嶋乃郷松下の
觀音堂より休まゆり教年
に以て田嶋丹波寺先祖尾張守
仲安由依波して今の急通寺





奉祈念秘葉寺天坊鎮防不燭

と建立し哲法海部尚と衛して
因山とあを師の道徳と尊んで
法より動水僧雲より生中に
働き捨れある僧ありて師乃
心し契りて隨身するもの多年
一日夏の日に主僧天狗れ海と
して昼燈して番者と師見そ

あふふていしく看りし僧
月見て袈裟と掛て方丈と
了て山僧と契ひあるより師の中
け子ハ生方平生捨れ酒法を
外乃僧捨人あを捨れ人なりとそ
服とあるは僧より方丈存
の毎れ海部とされハ元弘二年ハ

扇がうし是漸く暇と下れ返り然
ゆ方丈も是漸く暇と下れ返り然
別別及でと信やう久く和尚乃
大法と徳少談しき多其の新謝ふて
鎮防火燭といふ火防の札と一抄書して
方丈上よりて門外かく何方とも
引去流ふを札と秋葉控魂の火防

乃札と云傳へて文と板紙よ彫て今
傳へて通寺に宝蔵とて城邊にて
屋り来るといふ正五九月秋葉の
尊像と傳へて大般若と焼く寺内
火難除の祈禱を致し英町赤土村
門と云ふ此火災と焼く寺也

萬治元戊戌年九月念三日

